

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2007.12.25  
2008.1.10  
No.957

発行責任者 梅野敏基 定価 10円  
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

新年あけまして  
おめでとうございます。



今年もよろしく  
お願いいたします

愛知県本部役職員一同

## 2008・非正規の待遇改善年に



近年、多くの自治体で正規職員を採用する代わりに非正規職員を増やし、劣悪な賃金・労働条件の下で、正規職員と同様の業務を任せているケースが増えています。様々な矛盾の中でも、住民のくらしを守るために、職場で一生懸命がんばる臨時職員さん。その姿を西尾市民病院と一宮市尾西清掃事務所に追いました。

# わたしは病院の顔 誇りを持ってはたらいています

西尾市民病院の  
臨時職員さんを追って

元気にはたらく石川さん

笑顔がすてきな石川真子さんは、西尾市民病院で看護助手としてはたらいています。仕事は多岐にわたります。看護師さんの補助や一日3回のトイレの掃除・消毒、不潔室(流し)の掃除・消毒、吸引ビンの洗浄作業、ベッドメイキング、洗濯、お茶配り、無菌室の掃除、退院の手伝いなど、分刻みで仕事をこなさない

と終わらないほどです。

看護助手になって15年。正規の仕事を探していましたが、今の状況では正規の仕事を見つけないのは困難。子どもが入院した病院で、看護助手という仕事を知り、西尾市民病院の臨時職員としてはたらきはじめました。勤務は月曜～金曜の8時30分～17時00分、月1回の土曜日勤務。西尾市民病院の

石川 真子さん



看護助手は、正規職員が6人、臨時職員が15人で各病棟2人体制ではたらいています。正規も臨時も仕事内容

容はほとんど同じです。もちろん残業もありますし、年休はあまり取れないのが実情です」と、勤務実態を語ります。

組合のがんばりで  
月給制に

「昨年は組合ががんばってくれたおかげで、月給制になりました。今度は賃金の底上げが出来たらと思います。

## 全員の雇用確保に確信

### 一宮市労組尾西清掃分会

「本当は人前で話すことが苦手なんです」と話す一宮市労組尾西清掃分会会長の渡辺さんは、静かだけれど「間違いは間違い」と言える正義感にあふれる人です。

月曜から金曜の8時30分



尾西清掃分会長の  
渡辺利雄さん

17時00分まで、隔週土曜日勤務し、家庭ゴミの収集をしてきました。ところが一宮市は、来年度から清掃の収集業務を民間に委託することを決め、それに伴って尾西清掃にはたらく渡辺さんたち臨時職員の雇用不安が生まれました。それから10カ月のたたかいで雇用止めを撤回させ、20年度の全員雇用を勝ち取りました。しかし、「将来への不安はあります。身分は常勤的臨時職員で、正規職員と同じ仕事や同じ責任があり

### まわりの支援に はげまされ

はげまされ

「私たち臨時職員のなかまも、市民に迷惑をかけるまいと、きちんと仕事をしたいと考えています。そのため、安定した雇用の確保と、生活できる賃金や労働条件の改善が課題です。

「仕事は尾西地域から一宮市全域になるので、仕事量は確実に増えます。不安ですがみんなで組合に結集し、これからも奮闘していきたいと思えます」と、力強く話す渡辺さん、熱い闘志を感じさせます。

ます。正規職員の賃金が決して高いとは思いません。むしろ臨時職員の賃金や労働条件を正規に近づけることが大切ですね。小さな力でも、みんなが団結してがんばれば必ず前進する」と、2008年の目標や決意を語ります。そして「私は臨時職員。でも誇りを持って仕事をしています。患者さんやご家族と接するときには、自分が病院の顔だと思つて接していますし、看護師さんと患者さんの橋渡しができたらいいなと思つてがんばっています」と、話してくれました。患者さんや職場のなかまとの信頼関係を大切にしながら、明るく元気にたくさん仕事をこなす、石川さんです。

8月に臨時・受託労働者の生活向上をめざすと、決起集会をしたときは、たくさんの方がかけつけてくれて心強かったです。本当に感謝しています。組合をつくって良かったと思えます。来年度から、年間8日勤務日が減り、収入は10万円くらい減ることになってしまいます」と、次なるたたかいに決意をみなぎらせます。



